

# 主催事業紹介 「夏休み工作」

## ～おもしろ楽器（カホン）をつくろう～

8月19日（土）参加者 24人



夏休みはやっぱり工作！ということで、楽器「カホン (cajon)」を製作・販売し、プロミュージシャンにも供給しているカホン屋サイトウグンマ代表齋藤秀典氏を群馬県からお招きして講座を行いました。カホンとは南米ペルーの楽器で、スペイン語で「木の箱」の意味です。

一般的なカホンは座って演奏する大きなものですが、今日は家でもどこでも気軽に演奏でき、木工用ボンドと木材だけで作る「つちにかえるカホン」を作ります。

材料や道具を見ながら、どうやったらうまく作れるかを自分で考えながら作っていきます。良い音で鳴るように作るコツは、ボンドをたっぷり使って隙間ができないようにすることだそうです。



1 時間ほどで組み立てが終わりました。あとは明日まで待って、ボンドが乾いてからやすりで面取りをしたり、表面にオイルを塗って完成です。

後半は先生の持ってきてくれた見本のカホンで演奏のデモンストレーションを見たあと、演奏方法を教えてもらいました。

基本のエイトビートもみんな上手にできるようになりました。

そのあとはカホンを使ったドラムサークルでリズムを使って遊びました。年齢や性別などに関係なく、みんなで楽しくカホンを叩いた後

は「南の島のハメハメハ大王」を全員で演奏して終わりにになりました。



※ドラムサークル…打楽器を使った即興演奏によって、リズムでコミュニケーションを深める取り組み。間違いや失敗がなく老若男女だれでもできることが特徴